

和 聲 論	二	二
音 樂 史	一	二
體 操	二	二
英 語 (随意科目)	(三)	(三)
合 計	二三 (二六)	二三 (二六)

前表ノ學科目ノ外ヴァイオリンヲ課スルコトアルヘシ

昭和六年、「本年度入學生徒ノ募集ヲ中止ス」(「第四臨時教員養成所一覽 自昭和六年至昭和七年」二頁)とあり、前年度入學生が卒業する昭和七年三月三十一日をもって第四臨時教員養成所は廃止される。

(三) 第四臨時教員養成所の生徒について

『臨時教員養成所一覽 大正十二年十一月現在』には、各臨時教員養成所の生徒募集計画が記されているほか、生徒の出身府県や年齢などが細かく記載されている。そこでまず、この資料に基づいて次の四項目を整理し、大正十二年の第四臨時教員養成所を概観する。

- (イ) 生徒募集計画
- (ロ) 入学志願者及入学者の出身別
- (ハ) 入学者の出身府県別
- (ニ) 入学者の年齢および業務略歴
- そして十年間にわたる第四臨時教員養成所の生徒数をまとめる。
- (ホ) 各年度の入学者数および卒業者数

(イ) 生徒募集計画

「臨時教員養成所生徒募集豫定計畫表」(イ表 同書 五頁)は大正

十一年度から大正十五年度までの各學科目ごとの學級数および生徒数を表にまとめたものである。科目名は、国語、英語、地理歴史、数学、物理化学、博物、音楽、体操であり、このうち音楽と体操以外は大正十五年度までの予定が書き込まれている。しかし、音楽は十四年度と十五年度については数字が記入されていない(体操は大正十一年度のみ記入されている)。

また音楽は、計画では大正十一年度、十二年度ともに學級数一、生徒数一〇であるが、実際の生徒数は、(ホ)で見られるようにこれを大幅に上回っていた。

(ロ) 入学志願者及入学者の出身別

大正十二年四月現在「入學志願者及入學者出身別調」(ロ表 同書 七頁)によれば、志願者には「中學又ハ高女」出身者が最も多く、ついで「師範」「其他」の順となっている。いずれも大正十一年の方が多く、大正十一年の志願者は計八十九名、入学者は二十五名、大正十二年の志願者は六十五名、入学者は二十名である。

(ハ) 入学者の出身府県別

大正十二年十月現在「臨時教員養成所生徒出身府縣別」によれば、第四臨時教員養成所の生徒二学年を合わせた四十四名の出身府県は次のように整理される。以下のデータは「臨時教員養成所一覽 大正十二年十一月現在」十二〜十六頁より、「第四臨時教員養成所」に関する部分をまとめたものである。府県の記載順もこれに倣っている。

北海道二、大阪一、神奈川一、兵庫二、埼玉一、群馬一、千葉二、三重一、愛知一、静岡三、山梨一、長野一、宮城一、福島三、青森一、山形二、石川三、富山一、島根二、岡山三、山口三、高知三、福岡一、大分一、熊本一、宮崎一、鹿児島一の計四十四名である(二学年を合わせた入学者数は(ホ)に見られるように四十五名であったが、この時点で大正十一年の入学者一名がすでに退学し、四十四名となっている)。

た。

(三) 入学者の年齢および業務略歴

大正十二年十月現在の生徒名簿には生年月日と年齢が記載されているので、入学生の年齢構成を把握することができる。それによると第二学年二十四名は十八歳から二十九歳となっており、平均年齢は二一・二歳である。第一学年二十名の場合には十七歳から二十五歳であり、平均年齢は二〇・三歳となる(同書 一一九〜一二二頁参照)。

また同生徒名簿には「業務略歴」の欄があり、全生徒の半数をやや上回る二十四名に記載がみられる。そのうち二十一名は小学校訓導の経験者で、期間は数カ月から十三年までさまざまである。その他は師範附属訓導が二名、女子師範訓導が一名である。

(ホ) 各年度の入学者数および卒業生数

大正十一年度から昭和五年度までの各年度の入学者数(男女内訳を含む)、卒業生数、およびそれらの総数をまとめておく。入学者数と卒業生数は『第四臨時教員養成所一覽』もしくは『東京音楽學校一覽』に掲載されている入学年度の名簿に基づく。

ただし、昭和三年の入学者数については、『東京音楽學校一覽 自昭和三年至昭和四年』が欠落しているため、『同書 自昭和四年至昭和五年』に記載された第二学年の生徒名簿を便宜上これに代えた。

また、最終年度である昭和五年入学生の卒業人数については、『東京音楽學校一覽』にも卒業生名簿が掲載されておらず、正確な人数を確認することができないが、『第四臨時教員養成所一覽 自昭和六年至昭和七年』によれば昭和六年十月現在で二十五名在籍となっており、しかもこの数字は、平成八年に発行された同声会名簿の「第四臨時教員養成所第九回卒業生」の欄に記載された人数とも複数の卒業生の記憶とも一致するため、二十五名とした。

入学年度	入学者数	男/女内訳	卒業生数	卒業年月
大正十一年	二五名	(五/二〇)	↓ 二四名	大正十三年三月
大正十二年	二〇	(六/一四)	↓ 一九	大正十四年三月
大正十三年	二五	(八/一七)	↓ 二二	大正十五年三月
大正十四年	二七	(三/二四)	↓ 二五	昭和二年三月
大正十五年	二七	(三/二四)	↓ 二二	昭和三年三月
昭和二年	三二	(四/二八)	↓ 二五	昭和四年三月
昭和三年	四四	(二/三/三二)	↓ 四三	昭和五年三月
昭和四年	二七	(九/一八)	↓ 二四	昭和六年三月
昭和五年	二五	(八/一七)	↓ 二五	昭和七年三月
昭和六年	〇			
入学者数計				
二五二 (五九/一九三)				
卒業生数計				
二二九				

十年間にわたり設置された「第四臨時教員養成所」は、第一回生から第九回生まで二百五十二名の生徒を受け入れ、二百二十九名を送り出している。

(イ) 表

臨時教員養成所生徒募集豫定計畫表

學科目	大正十一年度		大正十二年度		大正十三年度		大正十四年度		大正十五年度	
	學級數	生徒數	學級數	生徒數	學級數	生徒數	學級數	生徒數	學級數	生徒數
國語	二	五〇	三	九〇	三	九〇	三	九〇	三	九〇
英語	二	五〇	二	六〇	三	九〇	三	九〇	三	九〇
地理歴史	二	二〇	一	三〇	二	六〇	二	六〇	二	六〇
數學	二	五〇	五	一五〇	四	一二〇	四	一二〇	四	一二〇
物理化學	二	四〇	二	二〇	三	九〇	三	九〇	三	九〇
博物	二	三五	二	六〇	三	九〇	三	九〇	三	九〇
音楽	一	一五	一	一〇	一	一〇	一	一〇	一	一〇
體育	一	一〇	一	一〇	一	一〇	一	一〇	一	一〇
計	一三	二七〇	一八	五二〇	一七	四九〇	一六	四八〇	一六	四八〇

(ロー表)

臨時教員養成所入學志願者及入學者出身別調

大正十二年四月現在

養成所別	年度	師範		中學又ハ高女		其他		計
		志望者	入學者	志望者	入學者	志望者	入學者	
第四臨教	大正十一年	三五	一〇	四七	一二	七	三	八九
	同十二年	二九	一〇	三一	一〇	一	一	六五
平均	計	六四	二〇	七八	二二	二	一五	一五四
		三二	一〇	三九	一一	六	七	七七
								四五
								二二

(四) 第四臨時教員養成所の職員について

大正十一年四月から昭和七年三月までの間、第四臨時教員養成所に関わった職員をまとめると次のようになる。

氏名の順は、大正十一年度の名簿を基本とし、それ以後の異動についてはそれぞれの官職の後ろに記した。氏名欄の括弧内は改姓後を示す。なお、昭和三年度については、『東京音楽学校一覽』欠落により不明である。

担当	官職	本官職	氏名	年度
	管理者	東京音楽学校校長	村上直次郎	大11~昭12
	管理者	東京音楽学校校長	村直次郎	大11~昭12
	管理者	東京音楽学校校長	乗杉 嘉壽	昭4~6
オルガン、音楽通論	教授	東京音楽学校助教授	中田 章	大11~昭2
和声論	教授	東京音楽学校助教授	大塚 淳	昭4~6
	教授	東京音楽学校助教授	平井 保三	昭5
	教授	東京音楽学校助教授	片山 穎太郎	昭5

ピアノ	教授	東京音楽学校助教授	室岡 清枝	昭6
体操	配属将校	陸軍歩兵大尉	鈴木 雅治	大14~15
体操	配属将校	陸軍歩兵少佐	高瀬 保也	昭2
教練	配属将校	陸軍騎兵中佐	加藤 泰俊	昭4~5
教練	配属将校	飛行第五聯隊附陸軍航空兵中佐	新 諦五郎	昭6
ピアノ	講師	東京音楽学校教授	橘 絲重	大11~昭2
音楽史	講師	東京音楽学校教授	乙骨 三郎	昭4~6
英語	講師	東京音楽学校教授	木内喜右衛門	大11~昭2
修身、教育	講師	東京音楽学校助教授	岡野 貞一	昭4~6
唱歌	講師	東京音楽学校助教授	貫名美名彦	大11~昭2
ピアノ	講師	東京音楽学校助教授	澤崎 定之	大11~昭2
唱歌	講師	東京音楽学校助教授	多賀谷(鈴木)チカ	昭4~6
ピアノ	講師	東京音楽学校助教授	塚田芳太郎	大11~昭2
国語	講師	東京音楽学校教務嘱託	杉生 信雄	大11
オルガン	講師	東京音楽学校教務嘱託	黒木 勸藏	大11~13
国語	講師	東京音楽学校助教授	青柳 善吾	大12~昭2
音楽教授法	講師	東京高等師範学校訓導	渡邊 シヅ	昭4~6
ヴァイオリン	講師	本校研究科二年在学	喰田(遠藤)比佐	大12~13
ヴァイオリン	講師	本校研究科一年在学	大塚 淳	大12~昭2
ヴァイオリン	講師	本校研究科一年在学	眞篠 俊雄	大14~昭2
ヴァイオリン	講師	東京音楽学校助教授	多 久寅	大14~昭2
音楽通論	講師	東京音楽学校助教授	吉田春太郎	昭4~5
ヴァイオリン	講師	東京音楽学校助教授		大14~昭2
国語	講師	東京音楽学校助教授		昭4